

全建労発第 13号
令和7年5月27日

都道府県建設業協会
専務理事・事務局長 殿

一般社団法人全国建設業協会
専務理事 山崎 篤男
〔公印省略〕

「建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）」の周知について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本会の事業活動の推進にご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省では若年者の入職・定着促進を目的として、平成30年度から高等学校と建設業界がつながる機会を設ける「建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）」を実施しております。この度、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室長から、別添のとおり周知依頼がありました。本会も当該事業の活用は若年者の建設業への入職・定着促進の一助として有効と考えております。

つきましては、貴会会員企業の皆様にも、周知いただきたくお願い申し上げます。

(参考) 「つなぐ化事業」は厚生労働省が民間事業者（(株)東京リーガルマインド）に委託し、実施するものです。

(担当) 労働部 山崎、吉田

職 建 発 0523 第 1 号
令 和 7 年 5 月 23 日

一般社団法人全国建設業協会
会長 今井 雅則 殿

厚生労働省職業安定局
雇用開発企画課建設・港湾対策室長
(公 印 省 略)

建設業若年者理解・定着促進事業の都道府県協会への周知協力について

日頃より、職業安定行政の推進にご協力いただきお礼申し上げます。

さて、建設業においては、全就業者に占める若年層の割合が他産業に比べ低いことや、新規高等学校卒業者の入職3年後の離職率が他産業より高いことなどから、次世代の担い手の確保が重要な課題の1つとなっております。

また、若年入職者の伸び悩みや早期離職の要因として、就職先を決定する過程において、建設業界について知りたい情報を十分に得る機会が少ないことが挙げられます。

このため、当省では、若年者の入職・定着促進を目的として、平成30年度から「意見交換会」や「出前授業」など、高等学校等の先生・生徒と建設業界がつながる機会を設ける建設業若年者理解・定着促進事業（以下「つなぐ化」事業という。）を実施しております。

令和7年度についても事業の募集を開始していますので、下記のとおり、都道府県建設業協会にご周知の上、会員等に対し、「つなぐ化」事業へご参画いただくよう、お取り計らいの程お願い申し上げます。

記

1 事業の周知・参画について

「つなぐ化」事業の周知に際しては、別添1の本事業のスキーム等の資料及び別添2の周知用リーフレットと併せて都道府県協会に周知いただきたいこと。

2 事業の応募について

「つなぐ化」事業への参加を希望する際には、以下の専用ホームページへアクセスするよう周知いただきたいこと。

「つなぐ化」事業 ホームページ (<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>)

〈連 絡 先〉

厚生労働省 職業安定局 雇用開発企画課

建設・港湾対策室

建設労働係 渋井 shibui-yuuya@mhlw.go.jp

春原 sunohara-saki.1d5@mhlw.go.jp

TEL 03-5253-1111 (内線 5804)

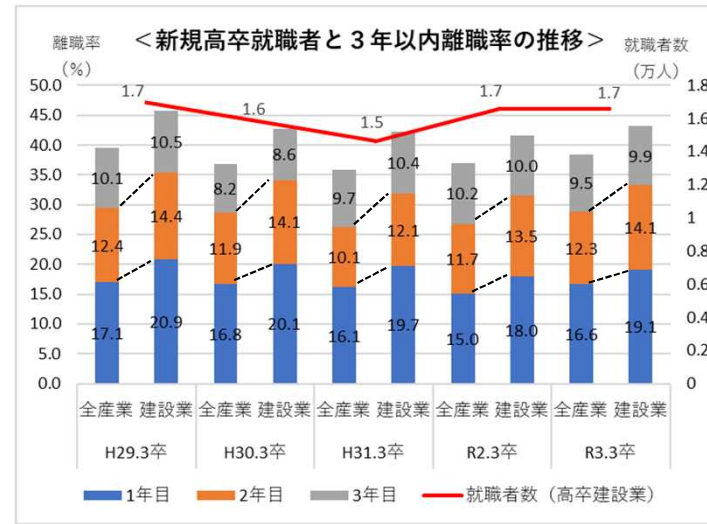
建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」）の実施

令和7年度当初予算額 29百万円（28百万円） ※（）内は前年度当初予算額

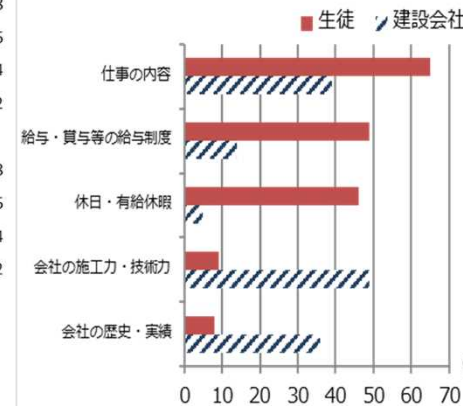
労働特会			子子特会	一般
労災	雇用	徴収	育休	会計
	○			

1 事業の目的

- 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、新規高校卒就職者の就職後3年以内の離職率は常に全産業平均を上回っており、特に1～2年以内の離職率が高い。
- 離職の背景には、就職先を決定する過程において知りたい情報を十分に得られていないことが挙げられているため、本事業では、若年者と建設業界がつながる機会を提供することで、若年者の建設業に対する理解を深め、職場定着を促進することを目的とする。

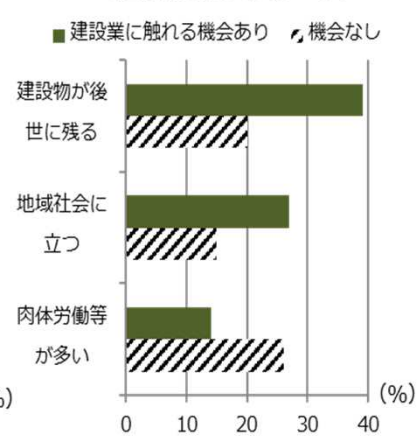


＜生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報＞



＜国土交通政策研究所「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」（一部抜粋）＞

＜建設業に対するイメージ＞



2 事業の概要・スキーム



3 実施主体等

- 委託事業により実施
- R6 事業実績（実施回数）

実施回数 151回

（内訳）

出前授業 71回
現場見学会 61回
意見交換会 16回
インターンシップ 15回

※一度の開催で複数事業実施する場合があるため、実施回数と内訳の合計数は異なる

- KPI（事業目標）

- ・実施回数 141回以上
- ・生徒等に対する事業参加の前後のアンケート調査において、就職先として建設業に関心を持った人数の増加した割合 46%以上

「つなぐ化」事業

生徒の「知りたい」と建設事業者の「知ってほしい」をつなぎ、
若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着をはかります。

出前授業



地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができる絶好の機会となります。

現場見学会



地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模や背景、使用機材などを実際に目で見て肌で感じると同時に、仕事内容や就労環境などを知ることができます。

意見交換会



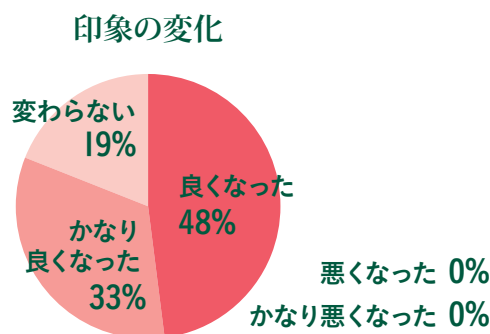
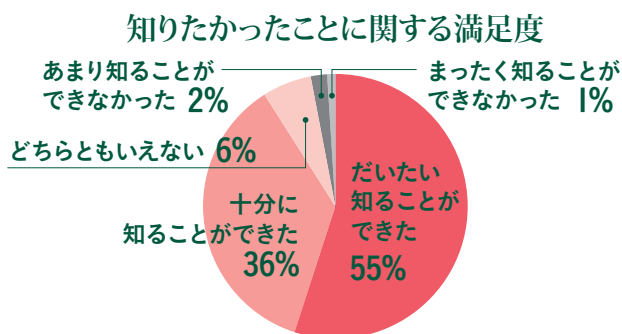
地域の中小建設企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が会し、就職や就労環境、建設業界の現状などについて意見交換を行います。学校側からは建設業界への疑問や要望を、建設事業者からは業界が求める人材像などを伝え、相互理解を深める機会となっています。

事業内容の詳細やお申し込みについては裏面のURL、
二次元コードからホームページをご覧ください。

「つなぐ化」事業とは？

私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業。その建設業界の未来をつくっていく担い手を育てるために、生徒の「知りたい」と、建設事業者の「知ってほしい」を結ぶさまざまな機会を創出することで、若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図る事業です。

※昨年度の満足度調査では参加者の91%が「知りたかったことを知ることができた」と回答しています。詳しくは下記HPをご覧ください。



■申込対象者

- 主に地域に密着した建設企業、団体、大手建設会社の協力会構成企業等。
- 高等学校1・2年生と教員、保護者等（専門学校、大学、教育委員会関係者等事業の趣旨に当てはまる方を含みます）。

■お申込み方法

以下の「つなぐ化」事業ホームページにアクセスし、「お申込みフォーム」よりお申込みください。

<https://tsunaguka.mhlw.go.jp>



■お申込みから実施～事後の流れ

- ①「つなぐ化」事業ホームページよりお申込み
- ②事務局より電話又はメールにてお申込みの確認
- ③事務局より必要書類をメール添付等にて送付
- ④事前必要書類（事業計画書他）をご返送
- ⑤事務局と事前打ち合わせ後正式決定
- ⑥実施

※実施後アンケート等のご返送にご協力をお願いいたします。

お願い

- 建設業の理解促進のため、事業実施の様子を事業ホームページや、事例集に掲載させていただく場合がありますのでご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。
- 高校生等の進路の決定に当たっては、保護者の方々のご理解と後押しが大きな力となります。事業実施においては、保護者の参加を勧奨くださるようお願いいたします。

□建設キャリアアップシステム(CCUS)のご紹介

国と業界が総力をあげて取り組む、建設業界で働く人を大切に育てるためのシステムです。現場で働いた履歴や保有する資格など、さまざまなキャリア情報を1枚のカードに記録し、技能レベルを可視化します。技能レベルは経験や資格に応じてステップアップします。国と業界では、技能レベルに応じた賃金アップの実現に取り組んでいます。



お問い合わせ先

厚生労働省委託事業「つなぐ化」事業 運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC** 東京リーガルマインド 担当：斎田、久保田

〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL：03-5913-6085(平日10時～17時) E-mail:tsunaguka2025@lec.co.jp